



西村正幸先生の 連続(全5回)講座

とき / 2019年6月13日(木) トライアル(無料)

①6月27日(木) ②7月11日(木)

③7月18日(木) ④7月25日(木)

ところ / 名古屋 YWCA4階 (405号室)

講座参加費 / ¥4,500 (資料・材料費含む)

時間 / 18:00~20:30

お申し込みは、名古屋 YWCA (担当/下方) へ
電話・FAX・メールで直接・お申し込みください。

〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3

TEL 052-961-7707 / FAX 052-961-7719

mail / yyy@nagoya-ywca.or.jp

『芸術を読む』

西洋世界の美術作品の多くは、キリスト教をテーマに描き、作られています。それら優れた芸術の作者は、自らが生み出す作品に、何らかの意図を作者の意志をもって表現しています。それを見極めるためには、作品の表面的な表現をただ眺めるだけでは発見することができません。

芸術を聖書というフィルターを通して「読む」ことで、はじめて作者の意図が明確になり、その作者のもっと深い魅力を見出すことができるのです。

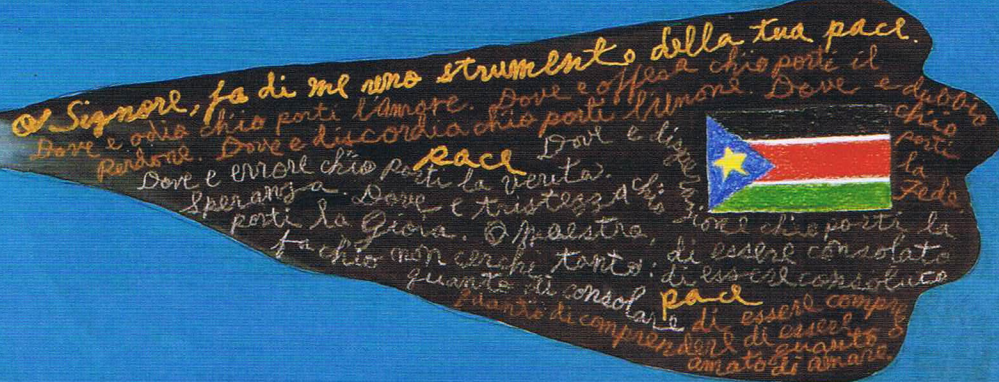
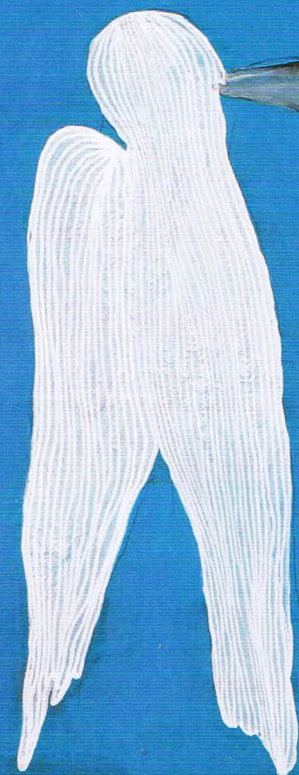
芸術作品を読み解くことで、受講者の想像力、発想力、探究心を磨き、世界の新しい面白みを体験しましょう。

『ある天使の思い出に』#8(南スーダンに)
To the memory of an angel #8(for Republic of South Sudan)

2017年制作、50×50cm、紙にアクリル絵具、顔料、色鉛筆、グラファイト、他



芸術を読むって面白い 世界が広がる芸術の読み方



Lord, make me an instrument of

<アクセス>

地下鉄東山線・名城線「栄」
5番出口より東へ徒歩3分



<主催> 公益財団法人名古屋YWCA・POP&ART ぐるーぷ 名古屋市中区新栄町 2-3 TEL 052-961-7707 (担当/下方)

[講師からひとこと]

容易に情報を得られる時代—鈍ってしまった観察力、発想力を今一度甦らせませんか。芸術における表現について、一般的に言われているような内容ではなく、毎回新鮮に知り、感じ、理解することができるメソッドをご紹介します。

毎回「耳を澄まして聞き、眼を凝らして見、心を開いて感じる」習慣をつけて講義に臨む姿勢が重要なので、事前学習は必要なく、それゆえ毎回の講義で紹介する「芸術作品」に驚きと感動をもって接する感性を養うことができます。芸術作品の歴史的背景、作者本人のスタンス、手法などを多角的に紹介しますので、毎回の講義後に各自で調べて見て新しい発見を増やし、探究心を培っていただきたいと思います。

講座のテーマ	内 容	参 考 作 品
第一回講座 (トライアル) 6月13日 (木) 『芸術を読む』という ことについて	ソウゾウするとは？観察するとは？ 自分の鈍ってしまった感性、常識と思っ てしまっている“硬さ”を緩め、ほぐす ための導入講座です。	[美術] デューラー「原罪」(銅版画)とミケランジェ ロ「原罪/樂園追放」、ミケランジェロ「ヴァチカン のピエタ」と「ロンダニーニのピエタ」 [絵本]「100万回生きたねこ」
第二回講座 6月27日 (木) 芸術家のスタンス (1)	作者がどういうスタンス (立ち位置) で 表現したのかを発見します。 [美術と音楽から]	[美術] 濱谷浩「敗戦の日の太陽、高田」と川合玉堂「五 月女」[音楽] ジョン・レノン「イマジ」、ビートル ズ「フル・オン・ザ・ヒル」、ジョニ・ミッチェル「ウッ ドストック」、U2「ドラウニング・マン」
第三回講座 7月11日 (木) 美術による癒し (ヒーリング・バイ・アート) 体験	嫌なこと・ストレスなどが癒されるよう に受講生を導きながら、絵を描きます。 また、「絵を描くのが苦手な人のための ドローイング」でもあります。 [実技]	クレヨンなどを使って、同じ指示のもとに描いている 内に、全員が全く異なる抽象画が描けてしまうことを 体験する。
第四回講座 7月18日 (木) 芸術家のスタンス (2)	作者がどういうスタンスで表現したのか を、社会的なメッセージを含む作品から、 “peacemakers 平和を作る者”について 考えます。 [メッセージ、文学、写真、音楽から]	[文章と写真] シャーロット・アルデブロン『イラク の子どもたちは今』 [文学] ヴォルテール『カンディード』 [メッセージ] Pray, and think [音楽] U2「With or without you」
第五回講座 7月25日 (木) ピーターラビット ～図像学と図像解釈学 について～	ピーターラビットが生まれた時代のイギ リスの社会状況などを通じて、『ピーター ラビットのおはなし』を読んでみましょ う。 [絵本、美術、音楽から]	[絵本] ベアトリクス・ポター『ピーターラビットの おはなし』[美術] エヴァレット・ミレー「オフィーリ ア」[音楽] ビートルズ「エレナ・リグビー」、「スカボロ フェア」(オリジナルとサイモン&ガーファンクル)、 マリーサ・モンチ「美しき歌声」

西村正幸プロフィール

名古屋芸術大学美術学部版画研究室・アートクリエイター研究室授(2018年選択定
年退職) 名古屋市在住。

<主な展覧会>

1986年『アート・ナウ'86』(兵庫県立近代美術館) / 1987年『YES ART DELUXE』(佐
賀町エキジビット・スペース、東京/ギャラリー白、大阪) / 1996年『トビカ;日本の
現代美術が1100年のハンガリーに挨拶する』(エステルゴム王宮博物館他、ハンガ
リー)『International Workshop for Visual Artists in Remisen-Brande』に招待参加(デンマ
ーク) / 1996年～1997年 日航財団『空の日芸術賞』を受賞しドイツに研修 / 2000
年 1999年度名古屋市芸術奨励賞受賞 / 2005年『現代版画の潮流展』(町田市立国
際版画美術館/松本市美術館) / 2007年『いのちを考える “世代を超えて”～西村正幸

とともに』(伊丹市立美術館)、『The 4th International workshop “DRAWING” in
Hannover』に招待参加(ドイツ) / 2010年ファン・デ・ナゴヤ美術展『On The
Planet』展(名古屋市民ギャラリー矢田、Flynnndog Gallery 他、Vermont,USA)

2012年『A Tree Of Peace From Japan』(ノルディック・ハウス、oフェロー諸島、
デンマーク) / 2013年『Laterna Magica(幻灯) / A Tree Of Peace(平和の木)～フェ
ロー × 名古屋交流展』(CASO、大阪、) / 2016年プロスコ農業・狩猟寄宿学校に
おける“平和”をテーマとした造形ワークショップに招待参加 [デンマーク・日本国
交100周年記念事業] / 1983～2019年 大阪、京都、愛知、東京、サンフランシス
コ等で60回以上の個展開催 / 2018年～美術講座『芸術を読む@荻須美術館』開講(稲
沢市荻須記念美術館)。